

●株主メモ

| | |
|-----------|---------------------------------|
| 事業年度 | 毎年4月1日～翌年3月31日 |
| 剰余金の配当基準日 | 期末配当 3月31日 (中間配当 9月30日) |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |

| | 証券会社に口座をお持ちの場合 | 特別口座の場合 |
|-----------|---|---|
| 郵便物送付先 | | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 |
| 電話お問い合わせ先 | | 0120-288-324 (フリーダイヤル) |
| お取扱店 | お取引の証券会社になります。 | みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 (トラストラウンジは除く) みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 |
| ご注意 | 未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。 | 単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。 |

※未払配当金のお支払のみ、株式会社みずほ銀行全国本支店でもお取扱いいたします。

公告方法 電子公告(<http://www.okayaelec.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

●株主優待のお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、当社株式への投資の魅力を高め、個人株主層のさらなる拡大並びに中長期的に株式を保有していただき、より一層のご支援をいただきたく、毎年3月末の当社株主名簿に記載された株主様を対象として株主優待をいたします。

《優待内容》

| | | | |
|----------|----------|---------|------|
| 100株以上 | 500株未満 | おこめギフト券 | 2kg |
| 500株以上 | 1,000株未満 | おこめギフト券 | 5kg |
| 1,000株以上 | | おこめギフト券 | 10kg |



100株以上を **3年以上** 継続保有の株主様には

おこめギフト券
1kg プラス

*3月末において、連続4回以上
株主名簿に同一株主番号として、
記載されている株主様。



●単元未満株式の 買取・買増制度のご案内

単元未満株式(100株未満の株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却することができます。また、「単元未満株式の買増請求」により、当社から単元株式数(100株)に不足する株式を買増して、100株単位にまとめることもできます。「単元未満株式を売却する」、「単元未満株式を100株に買増す」という株主様は、口座を開設されているお取引証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録されている株主様は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社へお申し出ください。

株主名簿管理人 〒168-8507
特別口座管理機関 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-288-324(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)

OKAYA 岡谷電機産業株式会社
<http://www.okayaelec.co.jp>

〒158-8543
東京都世田谷区等々力六丁目16番9号
TEL (03) 4544-7000 (代表)
FAX (03) 4544-7007

UD
FONT

ミックス
責任ある水産資源を
使用した紙
FSC® C013080

VEGETABLE
OIL INK

10S-OKAYA 2012-2014
Customer Trust OKAYA

第91期 事業報告書
2013年4月1日～2014年3月31日

OKAYA 岡谷電機産業株式会社
<http://www.okayaelec.co.jp>

● 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済につきましては、米国では企業業績は回復基調にあり、欧州でも南欧諸国の信用不安が徐々に和らぎ緩やかな回復が見られました。一方中国においては、輸出の伸び悩みや金融面での影響により、成長ペースは鈍化が続く状況でした。

また、国内では新政権による積極的な経済対策や金融政策を受け、過度の円高の解消や株価の上昇も進み、企業収益や個人消費は改善傾向が見られました。

このような経済環境の中、当社グループは平成25年4月に大幅な機構改革を行い、社内カンパニーとして「国内事業カンパニー」と「国際事業カンパニー」を設置しました。各カンパニー長が日本国内と海外それぞれの生産・営業・管理部門に関する責任と権限を持ち経営に当たっており、スタート当初より両カンパニーともに、常に「現場・現物・現実」を重視したマネジメントを行ってまいりました。これらにより、当期の全体の売上は前年に比して増加し、利益についても一部為替の影響もあり伸張が見られました。

国内では、上期には環境エネルギー分野において太陽光発電・風力発電等のパワーコンディショナー向けのノイズ・サージ部品が成果を上げ、下期には電気自動車の急速充電器や一部の産業機器向け部品が売上に寄与しました。全体としては中国や欧州諸国向けの低迷の影響を受ける中、売上は前年度レベルを確保しました。

また、海外においては、多くの国の猛暑の影響やインバータ化の後押しを受け、エアコン用部品が活況を呈しました。さらに、機構改革によるマーケティング力の強化や営業担当者と技術者連携によるローカル企業の開拓などの効果もあり、売上は前年度を上回る結果となりました。

なお、表示関連製品につきましては、FS-LCDは継続生産をしておりますが、その他は国内においてはLED製品に特化しており、前年度まで寄与したPDP、LCD製品の売上減少がマイナスに影響しております。現在それらを補うべく新規分野に対して継続的に市場調査並びにユーザー開拓を進め、エレベーターやマンション及び鉄道車両用のLED照明部品などは、新規取引が進みつつあります。また、従来より注力している医療機器分野では、精密医療機器を設置する部屋のノイズ対策用部品や医療照明用LED部品などについても提案活動を強化しております。

一方、コスト面につきましては労務費の低減に努めるべく、中国の工場で省人化ラインの増設を行うとともに、毎年発生する旧正月時期の生産量減少に対応すべく1~2月の売上が想定される製品を第3四半期に前倒して生産対応いたしました。また、生産力増強を図っているスリランカ工場では、コンデンサ部門の製造品種を拡大し、歩留まりも向上するとともにコイル製品も生産量が増加しております。

これにより、BCP対応も踏まえて国内・海外のグループ全体で適宜生産場所を選択できる体制づくりが大きく進んでまいりました。

また、TPR株式会社と合併で設立した「TOCキャパシタ株式会社」の事業につきましては、電気二重層キャパシタの技術開発を進め、新工場での少量生産ラインも整い、サンプル品出荷でお客様の動向を見極めるとともに販売体制を強化し、本格的な営業活動を進めております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

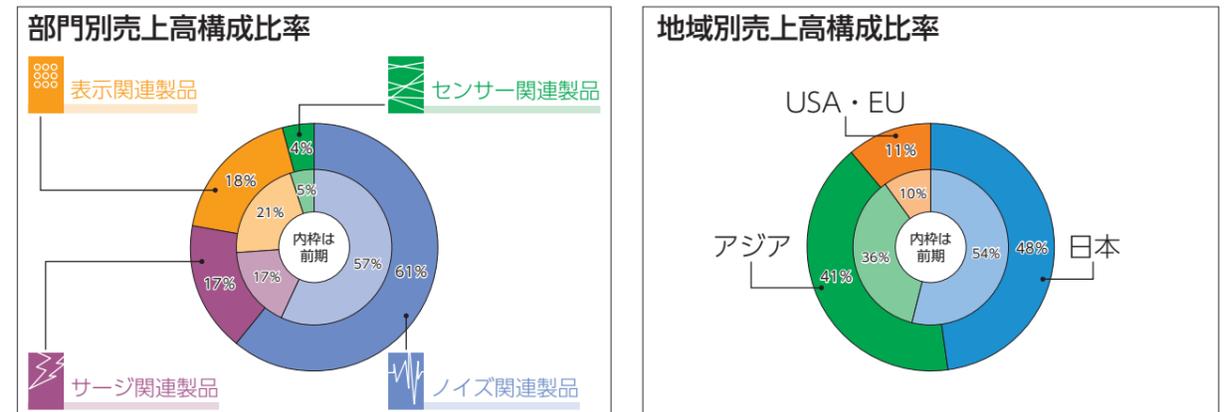
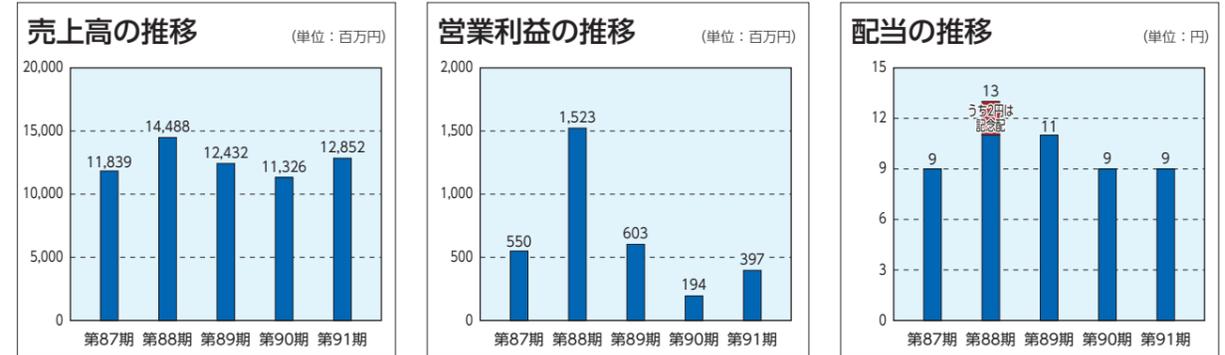
平成26年6月



代表取締役社長
最高経営責任者 **山岸久芳**

決算ハイライト

| | | |
|------|-----------|------------|
| 売上高 | 128億52百万円 | (前期比 113%) |
| 営業利益 | 3億97百万円 | (前期比 205%) |
| 純利益 | 3億65百万円 | (前期比 176%) |



●製品部門別の概況

ノイズ関連製品

上期は太陽光発電・風力発電等に使用されるパワーコンディショナー向けの部品が伸張し、下期は電気自動車の急速充電器関連の部品需要が伸びました。



また、猛暑の影響からエアコン向けの部品も売上は順調に推移しました。産業機器関連は一部のメーカーで伸びが見られました。

表示関連製品

日本国内においてはLED分野に特化しており、エレベーター・エスカレーター関連は引き続き受注をいただいております。新規開発中の製品についても、お客様より関心をいただいております。



米国では医療機器向けのLCD表示器が継続的に成果が出ております。

サージ関連製品

ノイズ関連製品と同様に、エアコン向けの部品が好調に推移しました。



また、太陽光発電に使用されるパワーコンディショナー向けやLED表示灯の電源部分に使用される部品が伸張しました。一部、セキュリティ関連や白物家電向け部品も増加しました。

センサー関連製品

産業機器分野でモーター向けの部品について、一部伸びが見られました。



また、時刻補正用センサーは堅調に推移しております。

セキュリティ関連製品の部品は継続的に提案活動を進めております。

●OKAYAニュース

◆成田国際空港の出発便ご案内ディスプレイにOKAYA製品が採用

成田国際空港第一ターミナル北ウィング出発ロビーの出発便ご案内ディスプレイに当社の「FS-LCD（フィールドシーケンシャル方式カラーLCDモジュール）」が採用され、2013年12月に供用開始されました。「FS-LCD」はフルカラーLED表示器に比べて消費電力が低い、視野角が広い、発熱が低い、引き締まった黒色表現ができるなどの特色があります。「FS-LCD」が成田国際空港で採用されるのは今回が2箇所目であり、他に中国の上海虹橋空港の出発・到着ターミナルや韓国の鉄道の駅ホーム、国内の消防局の緊急車両統括管理システムボードなどに採用されています。今後も、当製品の特長を活かした拡販をすすめて参ります。



撮影協力：成田国際空港株式会社
【成田国際空港の出発便ご案内ディスプレイ】

◆電気二重層キャパシタの本格販売開始

当社は現在エネルギー分野で蓄エネの一大事業として電気二重層キャパシタに注力しております。当社の開発製品は超小型で省スペース設計であること、充放電特性に優れ長寿命であること、材料に重金属を含まず、環境にやさしいことなどが大きな長長となっております。

用途としては、建設機械分野、非常誘導灯などのLED照明の電源、無停電電源装置や瞬停装置のバックアップ、EVの蓄電、バッテリーアシストなどです。既にサンプル品の出荷を進めており、それらで得た情報をもとに本格的な販売を開始いたします。



【電気二重層キャパシタの製品】

◆「鉄道技術展」に初出展で新規市場のお客様獲得

2013年11月6日から8日にかけて幕張メッセで開催された「第3回 鉄道技術展」に、当社も各種製品を持って出展しました。当技術展は車両技術のみならず、鉄道分野の技術が一堂に会する総合見本市であり、多くの出展企業・関連団体が参加しました。駅の照明、各種表示装置、信号保安装置などは当社製品が使用される頻度も高く、会場ではご来場のお客様と当社担当者による熱心な商談や、情報交換が行われました。当社製品の仕様書・サンプル品の要求やカスタム品の試作依頼などに繋がり、今後も更なる新規市場の拡大が期待されます。



【鉄道技術展の当社ブース】

決算概要

貸借対照表 (連結)

(単位：百万円 百万円未満切り捨て)

| 科目 | 当期 | | 前期 | |
|-------------|---------------|---------------|--------------|--|
| | 平成26年3月31日現在 | | 平成25年3月31日現在 | |
| 資産の部 | | | | |
| 流動資産 | 8,264 | 6,882 | | |
| 固定資産 | 4,454 | 5,540 | | |
| 資産合計 | 12,719 | 12,422 | | |
| 負債の部 | | | | |
| 流動負債 | 2,532 | 2,810 | | |
| 固定負債 | 1,164 | 1,083 | | |
| 負債合計 | 3,697 | 3,894 | | |

損益計算書 (連結)

(単位：百万円 百万円未満切り捨て)

| 科目 | 当期 | | 前期 | |
|--------------------|---------------------------|------------|---------------------------|--|
| | (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで) | | (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで) | |
| 売上高 | 12,852 | 11,326 | | |
| 売上原価 | 9,760 | 8,719 | | |
| 販売費及び一般管理費 | 2,694 | 2,412 | | |
| 営業利益 | 397 | 194 | | |
| 営業外収益 | 117 | 153 | | |
| 営業外費用 | 18 | 24 | | |
| 経常利益 | 496 | 323 | | |
| 特別利益 | - | 4 | | |
| 特別損失 | 2 | 4 | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 493 | 323 | | |
| 法人税等 | 238 | 174 | | |
| 少数株主損失(△) | △109 | △58 | | |
| 当期純利益 | 365 | 207 | | |

(単位：百万円 百万円未満切り捨て)

| 科目 | 当期 | | 前期 | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--|
| | 平成26年3月31日現在 | | 平成25年3月31日現在 | |
| 純資産の部 | | | | |
| 資本金 | 2,295 | 2,295 | | |
| 資本剰余金 | 1,861 | 1,861 | | |
| 利益剰余金 | 4,168 | 3,981 | | |
| 自己株式 | △121 | △120 | | |
| 株主資本 | 8,203 | 8,016 | | |
| その他の包括利益累計額 | 816 | 399 | | |
| 少数株主持分 | 2 | 112 | | |
| 純資産合計 | 9,022 | 8,528 | | |
| 負債純資産合計 | 12,719 | 12,422 | | |

キャッシュ・フロー計算書 (連結)

(単位：百万円 百万円未満切り捨て)

| 科目 | 当期 | | 前期 | |
|------------------|---------------------------|-------|---------------------------|--|
| | (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで) | | (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで) | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 742 | 1,030 | | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △311 | △565 | | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △222 | △617 | | |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 45 | 50 | | |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 253 | △100 | | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,116 | 1,216 | | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,370 | 1,116 | | |

会社概要・役員

(平成26年3月31日現在)

| | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| 創立 | 昭和21年6月1日 |
| 資本金 | 2,295,169千円 |
| 本社及び営業部門 | 東京都世田谷区 |
| 関東営業所 | 東京都世田谷区 |
| 名古屋営業所 | 名古屋市東区 |
| 大阪営業所 | 大阪市福島区 |
| 長野出張所 | 長野県岡谷市 |
| 北陸出張所 | 石川県金沢市 |
| 静岡出張所 | 静岡市葵区 |
| 福岡出張所 | 福岡市博多区 |
| 埼玉事業所 | 埼玉県行田市 |
| 長野事業所 | 長野県岡谷市 |
| グループ関係会社 | |
| 東北オカヤ株式会社 | O S D 株式会社 |
| 岡谷香港有限公司 | 東莞岡谷電子有限公司 |
| OKAYA LANKA (PVT) LTD. | 岡谷香港貿易有限公司 |
| OKAYA ELECTRIC (THAILAND) CO., LTD. | OKAYA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE LTD |
| OKAYA ELECTRIC AMERICA, INC. | T O C キャパシタ株式会社 |

役員 (平成26年6月26日現在)

| 取締役・監査役 | | | |
|---------|-------|--|--|
| 代表取締役社長 | 山岸久芳 | | |
| 取締役 | 山田尚人 | | |
| 取締役 | 清田宗孝 | | |
| 取締役 | 吉野卓一 | | |
| ※取締役 | 小口徹一 | | |
| ※常務取締役 | 吉村太英 | | |
| ※監査役 | 鈴木木英夫 | | |
| | 山崎誠 | | |

| 執行役員 | | | |
|---------|------|--|--|
| 最高執行責任者 | 山岸久芳 | | |
| 常務執行役員 | 山田尚人 | | |
| 常務執行役員 | 清田宗孝 | | |
| 執行役員 | 水野孝 | | |
| 執行役員 | 吉野卓一 | | |
| 執行役員 | 高屋明 | | |
| 執行役員 | 本間勤 | | |
| 執行役員 | 黒崎政道 | | |

※印は、社外役員であります。

株式の状況

(平成26年3月31日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 90,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 22,921,562株 |
| 株主数 | 17,697名 |
| 大株主 | |

| 株主名 | 所有株式数 | 持株比率 |
|---------------------------|----------|---------|
| みずほ信託銀行株式会社退職給付信託(沖電気工業口) | 3,602 千株 | 15.71 % |
| 明治安田生命保険相互会社 | 2,066 | 9.01 |
| TPR株式会社 | 1,440 | 6.28 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,082 | 4.72 |
| 岡谷企業財形会 | 646 | 2.82 |
| 安田不動産株式会社 | 638 | 2.79 |
| みずほ信託銀行株式会社 | 465 | 2.03 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 370 | 1.62 |
| 岡谷電機産業従業員投資会 | 331 | 1.45 |
| 株式会社損害保険ジャパン | 257 | 1.12 |

(注) 上記のほか自己名義株式が569,217株(2.48%)あります。

所有者別分布状況

